

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月20日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100500
法人名	有限会社友星メディカル
事業所名	グループホーム谷山中央
所在地	鹿児島市谷山中央609-1 (電話) 099-269-1756
自己評価作成日	平成28年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年12月5日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

明るい雰囲気と毎日の手作りの食事が特色。支援の方向性としては介護を押し付けるのではなく、GHで暮らしている利用者方のお邪魔にならないことを主として自立支援に取り組んでおります。運営推進会議を兼ねての家族会は年3回開催しており、意見交換の場としても有意義な会となっております。GHの現状と介護力等実情にあわせて詳細に運営状況説明しております。食事は手造りにこだわり、GHの畑の食材の利用、毎日の買い出し時に季節の食材なども購入し、多彩な食卓となっております好評を得ております。緊急の際には連携機関である田上記念病院のホットラインにて指示を仰ぐ体制ができており、迅速な初期対応ができています。ご家族方にはGHは各利用者方にとって「自宅」であること、自宅に家族の出入りが無いことは物悲しいことであるとお伝えしており、GHへのご来訪機会が増えていくように努めている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは谷山中央の産業道路と国号225号の間に位置し、近くには谷山緑地公園やスーパーがあり、海岸方面には大型の商業施設がある。谷山支所、長寿あんしん相談センターも生活圏域にある。

○ホームの理念は開所からのものを継承し、パンフレットに掲載したり事業所内に掲示し、広く意識付けを図っている。毎朝唱和し、年度目標をたて、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。

○地域との繋がりを大切にし、町内会に加入して清掃活動への参加や運営推進会議を通じて、事業所のPRに努めている。地域住民との交流も一つずつ取り組み、ボランティアや高校の実習生、中学生の職場体験の受け入れを行い、利用者地域住民との交流の機会を作っている。

○協力医療機関と連携を図りながら、在宅で生活しているときと同じ様な暮らしに主点を置いて健康管理と安全確保を基本に、日常のケアの充実に管理者と職員が一体となって取り組んでいる。家族との信頼関係を職員それぞれが配慮し、築いている。

○インターネットを利用して情報収集を図り、職員の学習などを含め多方面にわたり活用している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り後にスタッフ全員で理念を唱和し理解を深めるようにしている。理念を共有することにより日常的にも理念を反映出来るように努めている。	開所時に理念を作成し、現在まで継承している。パンフレットや事業所に掲げ、毎朝唱和して職員の共有を図っている。事業所の理念として定着し、管理者・職員は自宅の延長というところに視点を置き、日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入している。町内会長には運営推進会議参加いただいております。谷山地域の県議員にも参加いただいております。訪問カットも地域より招へい行っている	町内会に加入し、地域のふるさと祭りの見物や十五夜の時にあいご会の子どもの訪問を歓迎している。中学生の体験学習や高校生の職場実習、ボランティアの慰問も快く受け入れ、利用者は来訪者との交流を楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	年に3回行われる家族会の他に運営推進委員会など開催し、ポスター等でお知らせしたりし、解り易く伝えている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所からの内容や現在取り組んでいることを報告して、意見を交換している。具体的な課題を話し合い理解を得るようにしている。	家族や民生委員・地域住民・地域包括センターの職員等関係者が参加し、毎回テーマを設定して定期的に開催されている。ホームの現況や行事、外部評価結果などを報告し、事故や問題点等については意見交換を行い、そこでのアドバイスをサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>近隣の谷山支所、保護下との連携は向上してきており、互いに近況報告やご家族の状況など連携して支援出来ている。</p>	<p>市の担当者や地域包括支援センターとは、継続的に情報交換を行い連携している。年1回介護相談員の受け入れ、市主催のフォーラム、実践者研修等も積極的に参加している。研修後は報告を行い、職員全員が内容を共有できるよう取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の三原則の毎日の唱和とミーティングにて身体拘束委員会開催を行っている。</p>	<p>言葉による身体拘束についても話し合い、マニュアルの内容の理解を深めた研修を行っている。自宅にいる状態を基本にしていることを家族にも理解してもらい、リスクについても説明している。利用者の行動パターンを把握し、行動を妨げることのないように援助し、自由な自宅での暮らしを想定したケアに努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期で虐待についての勉強会の開催行っており、その中で職員間で注意しあう関係性築く様喚起を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設研修にて理研擁護の勉強会を開催しており、具体的に現在GHの保佐人などとの連携・役割なども含めて多角的に理解深めるよう日々努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には時間を掛けて丁寧に説明している。常に家族や利用者の立場に立ち十分な説明を行っている。不安や疑問が生じないように利用者家族の立場に立って納得が得られるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関先に意見箱を設置して、要望・意見など様々な意見を頂けるようにしている。又、ご家族の来訪時の際にも要望や意見を頂き、解決に向けて迅速に対応している。	利用者とは日常の会話のなかで思いを察知し、職員ミーティング等で共有している。家族とは年3回の家族会や面会時に意見や思いを伺ったり、日常生活状況などの報告をし、関係性を深めている。通信「風のたより」に利用者の様子を一筆加えて、ホーム情報と共に伝えている。遠方の家族には電話で連携を取り、意見等を取り入れ、介護計画などに反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングを行い、お互いの意見や提案を聴いたり意見を出し合い反映し向上に努めている。月に一度の管理者会議でも意見を取り入れ報告している。	朝礼や毎月のミーティングで意見を聞くほか、日頃から職員とのコミュニケーションを心がけ随時意見を聞き、必要があれば個別面談も行っている。また、勤務表作成時には休日や有給の希望を可能な限り調整するなど働きやすい環境に配慮している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	現在の状況を管理者が把握し、1人1人が向上心を持って勤務出来るように管理者と職員がよく話し合っ調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者から代表者へと報告、連絡、相談と基本に則ったの運営管理が出来ている。関連機関より研修機会の情報も億寄せられ職員の実情にあった形での参加の声掛けを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>社会福祉協議会や訪問薬剤師、他GH管理者などとの交流機会が増えてきており、相互の連携強化や情報交換が出来ており、互いの関係性の向上に役立っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	十分な情報交換を行い、本人の困っていること不安なこと要望等を把握するように努めている。そのことを理解したり本人の思いを受容し信頼関係を務めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話聞く時間を充分に取り、家族の思いをくみ取りゆっくりと話し合いをする事に努めている。そのことに対して対応出来るように時間を掛けて話している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族に十分な説明を行い、納得のいくように支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの人生観を支える思いでお互いが共同生活をしながら和やかな雰囲気作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々GHは家族の協力なしではありえないことを啓発行っている。また利用者が家族コミュニティーから孤立しないように幅広い関係各位の訪問受け入れも行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	個別の宗教、家族間、友達、生活歴など広く考慮したなかでGHにて本人らしい『在宅』生活の延長線上にあるように配慮を行っている。	入所時の聞き取りやご家族の来訪時に利用前の情報を得ている。馴染みの方々との親交、墓参り、近隣へのドライブや散歩など、ご家族の協力ももらいながら、可能な限り支援している。本人の意向を尊重した支援体制が構築され、家族会も恒例になり、利用者・家族に喜ばれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者同士や関係性などを考慮しながら共有スペースでの席も配置したり、職員が間に入った方が良い時には間を取り持つように相互支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	GH生活からみえる本人家族の意向にも配慮しながら随時相談支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	時に必要に応じ、本人とゆっくり話を聞く時間を作っている。職員と一緒に希望を伺い意見や状況の把握に努めている。言葉や表情からも思いに気づき検討している。	思いや意向は、入所時の聞き取りや日々のケアの中で会話や表情から把握するように努めている。情報は職員ミーティング等で共有し、介護計画へ反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人家族からも情報を収集し、これまでの生活歴を知り確認、把握に努めている。本人の暮らしてきた環境に近い暮らしが遅れるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の健康状態をよく観察し、出来る事、持っている力を把握にするように努めている。1人1人の身体状況や生活リズム、精神的においても出来る事や持っている力を発揮出来るように支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃の関わりの中から本人の思いや家族の意見を聴き反映させている。職員間でミーティングや、多々全員の意見を出し合い、本人や家族の要望を照らし合わせながらケアプランの作成を行っている。	日々の関わりを通して言葉や表情などから、利用者の思いや意向を可能な限り把握するように努めている。家族・主治医・職員の意見を取り入れ、在宅の延長のような暮らしの継続ができるよう、介護計画を作成している。計画書は原案を職員全員が検討し修正し、正案にし実施している。モニタリングを適切に行い、状態、環境の変化時は適時見直しを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	トップダウンではなく、職員のほうからの積極的なアプローチを大事にしながら計画に反映していくように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の能力・意向・生活歴、またGHにてできることやできないこと、それらの能力を見極めながら柔軟な支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握とそれらの友好的な活用方法は随時考慮しており、実情に沿っての地域の一員としての暮らしが出来るように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携機関への受診支援や24時間体制の連携などご家族にとって医療面からの心配が軽減出来る体制が出来ており、現状はこれらを友好的に活用できている。	利用前の受診の経緯に基づき、本人や家族の希望するかかりつけ医に、家族による対応、また職員で支援している。受診状況や必要な対応についても職員をはじめとする関係者で情報の共有を図り、協力医療機関以外は家族にお願いしているが、事業所の対応時には家族に結果など報告している。24時間医療連携体制で緊急時の医療が受けられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>母体の病院看護師に状況を説明し、受診、看護を受けられるよう支援している。それ以外にも連携を取りながら受診の支援をしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には情報提供書を発行し、入院治療が迅速かつスムーズに行える様に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>日頃から病院機関と密に連絡を取り、情報の共有を図り、体調変化においても迅速に対応できるように努めている。家族の意見を随時確認していく。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、「看取りに関する指針」で入居時に利用者と家族に説明をし、事業所で出来ること、リスクなどを含めて話している。入居後も変化が見られた際、家族の思いを確認しながら医師の意見も含めて慎重に検討し、事業所で出来る支援をチームで取り組むように努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>必要時には24時間体制のホットラインを利用し夜間でも相談出来る体制を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>町内会長や地域の長寿支援センターと運営推進会議の中で地域の避難の実情など情報交換を行っており、GHで避難訓練にも生かせるように取り組んでいる。</p>	<p>消防署の指導の下、昼・夜間を想定した避難訓練、避難経路の確認を行っている。自動通報装置のシステム等充実し、わかりやすい位置に設置されている。自主訓練も実施されている。非常食や飲料水の備蓄もある。鹿児島市のハザードマップについては不明な点は関係機関に問い合わせている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人、個人の人格を尊重し、声掛けを重視しながら支援に努めている。	集団生活の中で職員のそれぞれの信頼関係に基づいた接し方を行っている。基本的には利用者の人格を尊重し、日常の様々なケアに際して尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応を行わないように、実践に取り組みお互いの気づきなどを話し合っている。また個人記録の保管や保護などにも配慮されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定を尊重して、確認が難しい利用者に関してはご家族と話し合いながら可能な限り本人の思いをくみ取るよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	けして押し付けるケアになることのないよう本人のペースに合わせて気分の乗らない日には日課も休んで頂くなど配慮行いながら個人個人の自由な暮らしを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者に似合う色など、生活の中にも彩や個性がみられるように支援している。訪問カットを利用し、ご家族同意のもと身なりを整える支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何よりも形のある食事提供にこだわっています。また好みではない食材や好みの食材など、可能な限り、利用者方の嗜好の情報を集めながらメニューも幅広く提供行っている。	週ごとの大まかな献立を作り、時には菜園で収穫された野菜を使用し、調理をしている。形態はできるだけ自宅で食べている、形のある状態で提供している。季節を感じさせる行事食等に気を配り、家族会では普段利用者食べている食事を提供し、ご家族も利用者と一緒に召し上がっていただいている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取表・水分表にて日々の摂取状態の情報管理に努めております。また拒否がみられても声掛けを重ねてみたり、時間をずらしたりとしっかり必要量確認できるよう支援に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを徹底しております。また可能な限り自力を促し、本人の残存機能維持にも意識をもって取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時での声掛け、誘導に努め、コールがある際も逐次トイレでの排泄支援している。立ち上がりが出来ないご利用者もケアの観点より介助にてトイレに座って頂いている。	事業所の基本として「排泄はトイレで」という事に取り組んでいる。退院直後などは立位保持からの取り組み、排泄の向上を目指して支援を行っている。ほとんどの方がトイレでの排泄ができています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜中心の食事、可能な限り普通食での提供にこだわりをもっている。また普段より水分の摂取には十分に気を付けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日は決まっているが、逆にその曜日を楽しみとされている利用者もおります。また個々の希望や汚染などタイミングに合わせて支援している。必要に応じての入浴支援に努めている。	週3回の入浴日を設けているが、個々の希望や状況に応じ、いつでも入浴できるようにしている。また、入浴を楽しめるよう自分の好みのシャンプー等を使っていただき、入浴後には保湿クリーム塗布や水分補給にも気を配り対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況、体調にあわせて休息出来ている。また不眠が観られる際にはともにお茶を飲んだり、声掛け、付添などによって安心して入眠できるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	高齢もあり、状態変化の際はまず副作用疑いから確認するよう努めている。また内服時には日付・朝晩・本人確認の読み上げを行って服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出、外食行事を設けております。またGHの生活においては各人家事参加等能力に応じて支援し、埋没的な生活にならないよう役割をもって頂いたり、機会を設けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の要望を大切にしながら状態把握に努め、また得られた情報を職員と共有を図ることで、本人のGHにおける生活の安心と安全確保に取り組んでいる。	日常的に天候、体調をみながら散歩や近隣のスーパーに買い物に出かけている。また、年間の行事計画に沿って、ご家族の協力も得ながら地域の行事や季節の季節の花見、外食などの外出支援を行っている。ご家族と一緒に墓参りや自宅への一時帰宅・外泊など、個別の希望に添った外出支援にも努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理能力のある方には個人で金銭管理を行っていただき、自己管理支援を行っております。外出時などはその財布からのお買い物支援も行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人希望がある際には速やかに対応している。また正月には年賀状を出す支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は特に清潔に保つよう気を付けている。また季節ごとに四季を感じられるような演出物制作にも取り組んでいる。その際は利用者型にわかりやすい造形に留意している。	1階、2階それぞれの共用空間は換気や採光に配慮し、温度や湿度も快適に保たれている。玄関・リビングには手入れが行き届いた観葉植も適切な位置に配置されている。広いリビングは落ち着いた雰囲気の中で静かに時間が流れレクリエーションなどが楽しめるように配慮がされている。利用者にとって気になる音などは感じられずゆっくり過ごせるように工夫されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間での配列は個々人の関係性に最大限配慮行っている。またソファを設け、ゆったりと過ごせる環境にも配慮行っている。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の馴染みの家具や仏壇、写真など本人にとってかけがえのないものや思い出を感じられるものを置くことによる、本人にとって居心地の良い空間となるよう配慮している。</p>	<p>居室は事業所が準備したエアコン・ベッド・タンス・洗面台の他に、本人や家族の希望に沿って使い慣れた家具や日用品などを自由に持ち込んで頂き、自分の部屋として落ち着いて過ごせるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレも本人の動線に合わせた箇所を利用して、本人が迷わないように考慮している。ユニットの環境を考慮したケアに努めている。</p>	/	



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り後に、スタッフ全員で理念を唱和し理解するようにしている。スタッフが共有することにより理念に謳ったケアが刷り込んでいけるように努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のふるさと祭りに参加したり、日常の近くの散歩や外気浴時に近隣住民と挨拶したりと交流している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	年三回行われている家族会の他に、運営推進委員会などを開催しポスター資料でお伝えしています。意見交換なども行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所で現在取り組んでいる内容を報告し、意見交換など具体的な課題を話し合っている。又、理解を得るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>谷山支所、鹿児島市役所、長寿あんしんセンターと連携を図っている。認定更新は勿論のこと、担当者へ入居者の近況を伝え常に協力関係を築いている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎朝スタッフ全員で身体拘束の三原則を唱和している。認識し実践している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に勉強会やミーティングを行うなどし、理解を深め周知徹底している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>利用者に成年後見人のついでいる方がおり、その関係で職員方も成年後見人の存在を身近に感じており、後見人との交流のなかで実務として関わりをもって生きた学習ができています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	常に利用者の立場にたち十分な説明をしている。不安や疑問点は時間をとって丁寧に説明している。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	日頃より要望、意見を出してもらう機会を作り、出された意見は運営や日々の暮らしのケアに活かしている。		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	ミーティングを毎月開催している。特にスタッフの声に耳を傾け質の向上に努めている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	研修や会議などに参加できている。報告はミーティングで発表をし全スタッフが閲覧するようにしている。研修には率先して参加するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の日頃の努力や勤務状況などを把握し向上心を持ってスキルアップ出来るように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同じ法人内の交流はもちろんのこと、近くの地域の同業者との交流する機会を積極的にもって質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話を聞き受容する。不安や困っていることなど把握するように努めている。又、不安に思っていることを理解したり家族の思いを受け止めて信頼を作るよう努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との話し合いを充分にとり、思いをくみ取る対応に向けてゆっくりと話し合いをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者とその家族の要望を理解し行える範囲で（病院受診支援等）支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	1つの家族という思いでお互いが共同生活しながら和やかな生活が出来るよう雰囲気作りや声掛けを行っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活の様子を家族に伝えたり、家族の意見を聴いたりして本人を支える関係作りを築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・知人の方達と手紙やその他近況をお知らせし、いつでも面会に来ていただきゆっくりと一緒に過ごす時間を作っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は1人1人の入居者の気持ちを尊重し、じっくりと話を傾聴しお互い良い関係が持続出来るよう努力している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了した後も入居者や家族には不安を抱えていることに対し、いつでも相談を受けたり助言を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人とゆっくり話を聞く時間を作り家族・職員が一緒になり希望を伺い意見や状況の把握に努めている。表情からも思いを気付くようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族からも話を聞いたり情報収集して出来るだけ本人の暮らしてきた環境で暮らせるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者1人1人の身体状況や生活のリズム、精神的においても出来ること持っている力を発揮できるように支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族から要望を聞き反映させている。カンファレンスやミーティングで職員全員の意見を聴き、話し合い家族の要望を照らし合わせてから介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日1人1人の気付きを記録してスタッフ間で情報を共有して意見交換し、話し合っ介護計画の見直しを行いケアに記録している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて受診の付添他、必要な支援は対応出来るように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアや他の方々へはホームで行う行事等にも招待し交流を図っている。緊急時に備え消防署(谷山分遣隊)の協力を頂き防災訓練を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人：家族が希望するかかりつけ医との連携を図っている。家族が県外に移住して受診できない場合は適切な医療が受けられるように職員が家族に代わって付添同行している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に入居者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。母体となっている医療機関の外来看護師に相談している。24時間体制のホットラインを使用している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に情報提供となる内容の書面を発行している。入院後も病院を訪問し情報交換したり早期に退院出来るようにSW（ソーシャルワーカー）に働きかけを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医、看護師、家族と連絡を取り情報の共有を図り、体調変化に迅速に対応出来るように努める。出来る部分と出来ない部分の明確化。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	医療機関と密に連携を図り情報を共有し今後の変化に備えている。必要時の24時間体制ホットラインを利用し、夜間でも相談出来る体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の火災訓練と災害指定地域のため地震・津波災害対策の訓練を開催行い運営推進会議でも避難時の対応の意見もらっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉掛けには十分配慮し1人1人のサインを全員が把握し、扉の開閉等に注意しプライバシーの確保に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話を通して個々のしたい事や好きな事の思いを聞き取り、日常生活の中で自己決定をして頂いている。これまでの生活歴や動作表情からも読み取れるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体調やペースに合わせて出来るだけ希望に沿えるように支援している。やりがいや喜びに向けたものになるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	普段着用する服は本人の意向をきき選んで頂いている。訪問カットの利用の際は、本人の希望を聞き、整容している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各入居者と一緒出来る範囲で下ごしらえや、片付けを一緒に行っている。誕生日の献立や食材についても会話をして楽しむように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録している。全員で把握し水分や栄養バランス良く摂取出来るように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行ったり、介助を行ったり、磨き残しがないかなど確認している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者それぞれの排泄状態を把握している。それぞれに合わせて気持ち良く排泄出来るよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がちな入居者に対しては繊維質の多い食材や乳製品を取り入れている。家事活動など身体を動かす機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温度や入浴時間も工夫し生活リズムに合わせて快適に入浴出来るように支援している。夜間帯の入浴は行っていない。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、家事手伝いや他日光浴など通じて生活リズムを整えゆっくりと休息が取れるよう、安心して休んで頂けるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のコピーをケース毎に整理し、職員が内容を把握出来るようにしている。病状の変化があった場合はすぐに主治医との連携を取って対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ入居者に応じた家事参加が出来るように支援している。楽しみや役割を見つけ、やりがいや喜びに向けたものになるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候や体調に応じて外気浴へ出掛けられるよう支援している。入居者本位の外出を支援している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理方法を取り決め本人の金銭管理の支援に取り組んでいる。本人の希望を聴き、行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人に気軽にいつでも電話出来るように利用者の希望に応じて支援している。プライバシーに配慮している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節ごとにディスプレイを変えて季節感を感じて頂けるように努めている。使いやすい配置や居心地よく過ごせるように工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者が過ごしたい場所で自由に過ごせるように支援している。座席の位置を考慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物をそばに置いたりすることで安心して居心地良く過ごせる部屋にしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、廊下に手すりを設置し安全に過ごせるようにしている。トイレ、浴室、居室も理解出来るようにサインプレートを付けている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない